

ひめじ創生SDGsカフェ

開催日時：令和5年8月19日(土)13:00~16:00

会場：アクリエひめじ 4F 407・408会議室

主催：姫路市

全体テーマ：大阪・関西万博等を見据えた観光地域づくり

若い世代が姫路の街への想いや姫路の将来像について気軽に意見交換し、姫路の魅力を再認識し、街づくりへの意識醸成をするタウンミーティング「ひめじ創生SDGsカフェ」（姫路市主催）が、8月にアクリエひめじで開かれた。高校生を中心とした10～30代の約70名が参加。SDGsの視点から、大阪・関西万博等を見据えた観光地域づくりをテーマに、持続可能な未来の街づくりについて約3時間かけ話し合った。姫路市は提案されたさまざまなアイデアを「市への提言」として施策に反映できるか検討する。

主催者あいさつ

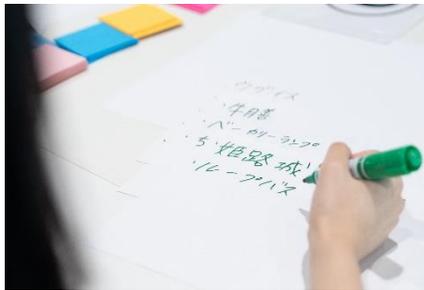
主催者を代表して、清元市長が「世界遺産 姫路城は今年で30年。その節目の30年にふさわしいイベントを姫路市は誘致して参りました。単発のイベントではなく、何十年・何百年と続いていくお祭りになるよう、今後も持続的で次へ繋がる観光政策をとっていきたいと思っています。いま、たくさんのヨーロッパやアメリカの人たちが日本の観光地に押し寄せています。この観光的に有利な1ドル150円時代をもっともっと上手く使い、5年先・10年先にもまた姫路を訪れてみたいと思っています。次の大阪・関西万博をいかに姫路の観光につなげることができるか。それが姫路の未来にもつながっていくのではないのでしょうか。これまで大人たちが考えても、うまく発見できなかった姫路の魅力を、『こんなソフトを作ったら』『こんなところに注目したら』『こんなものを食べてみたら』など、皆さんなりの10年後の姫路が豊かになる観光のアイデアを出して頂きたいと思います。姫路市は2年前に「SDGs未来都市」に選定されました。なぜ、SDGs未来都市になったのか。それは、SDGsは単発のものではなく、持続的に発達・発展をするということ。皆さんが大人になり、さらに皆さんの次の世代も含めて、『人を育てていく』ということに力点をおいた街づくりを目指しているからです。だから、今日のSDGsカフェがあります。次の世代にも楽しい姫路が残るような、アイデアや提言を待っています。」とあいさつ。





会議の進行役を務めるファシリテーターの薮田雪子氏は「テーマは“推し”です。私の姫路の推しはアーモンドバターです。こんな風に、皆さんもたくさん“推し”があると思いますが、今日は“姫路の推し”を考えてみてください。姫路に住んでいるということを一度忘れ、旅行者になったつもりで姫路の地図を広げて想像してみましょう。そして、話し合いのコツは、まず問いに集中する。そして、あなたの考えを積極的に話しましょう。話はできるだけ短く簡潔に。相手の話に耳を傾ける。最後に、相手の話を避難しないこと。みんなの話をしっかり受け止める、ということがルールです。正解を言う必要はありません。とんでもない・びっくりするようなアイデアを探し、今日は安心して話をしてください」とアドバイスした。今回は、参加者が1テーブル5～6人で12グループに分かれて机を囲み、議論を開始。ファシリテーター、タイムキーパー、発表者を決め、「みんなの知らない姫路の良いところ」や「みんな知っているけど、私は違う魅力を知っている」など、自由に発言し、グループごとに「私たちは姫路のココを推したい」「新たに企画してコレを推したい」をまとめて発表した。





私たちは姫路の A班「オリジナルアニメ」を新たに企画して推したい！

◆新たに姫路オリジナルアニメを作ることによって、観光客に聖地巡礼をしてほしい。アニメを制作することでバスや食べ物など色んなものを登場させることができアニメのコスプレをした人にガイドをしてもらうなど、姫路の新しいことやアニメのことを楽しく知ってもらえたらいいなと思いました。マンホールやバス・人力車にそのアニメをプリントし、併せて楽しんでもらえたらいいなと思います。



私たちは姫路の B班「家島諸島の魚」を推します！

◆家島諸島のいかなごは生産量が多く、ブランド化していることが有名ですが、意外にも姫路市民の人が知らなかったり、他府県の方が訪れなかったりすることから、家島諸島の魚を推すことになりました。PRするために有名人やインフルエンサーを誘致して、お昼の番組で紹介していただいたり、駅周辺での卸売りをすることで、生産・加工・流通・販売のすべてを行い新鮮な魚を直販することで魅力を伝えることができると考えました。



C 班「姫路科学館と甘音屋」を推します！

私たちは姫路の

◆姫路科学館に世界最大級のプラネタリウムを見てもらった後に、そのまま近くに泊まれる施設を作るということを考えました。

そこで朝食や夕食に姫路の特産品であるアーモンドトーストや姫路おでんを提供できるような施設になればいいと思いました。

◆姫路が舞台の小説「三毛猫カフェトリコロール」に“笑美玉”という甘音屋の最中のようなお菓子が出てくるので、甘音屋という古民家カフェに行き、小説を読みながらそれを食べてもらうことで楽しんでもらえると思いました。



D 班「インパクトのある広告」を新たに企画して推したい！

私たちは姫路の

◆例として、京都水族館の広告が面白いと思っています。

ペンギンの家系図を使った広告が面白いので、似たような姫路城の広告を作り、姫路城の広告面白いねという口コミで広がってほしい。

◆姫路城を舞台にした漫画やアニメを使って広告するのも面白いと思います。



E班 私たちは姫路の「城下町再現」を新たに企画して推したい！

◆姫路城をいかすことで、もっと姫路の認知度を上げることができると思います。大手前通りを城下町のような街並みに再現し、お店の店員さんの服装を昔の浴衣や着物に変えます。さらに、昼はいろんな食べ物屋さんに入ってもらい、夜はホラーナイトのような落ち武者が追いかけてくる演出を取り入れるなど、姫路を一日中楽しんで、泊まってもらえる街になると思います。それによって姫路城の興行収入が増えたり、外国人観光客にとっては自国では味わえない姫路ならではの満喫してもらえるとと思います。



F班 私たちは姫路の「野里街道」を推します！

- ◆野里街道を観光ロードにするために、街道全体に古民家カフェや体験施設・宿泊施設などを作る。
- ◆姫ちやりを増やして街道への交通手段を拡大する。



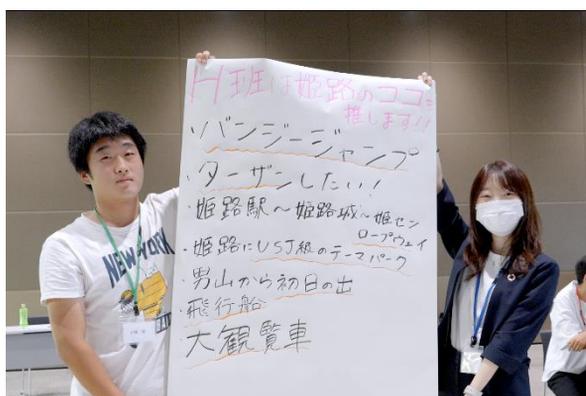
G班 私たちは姫路の 「ご当地アイドル」を新たに企画して推したい！

◆ 姫路のアイドルプロデュースプロジェクトを企画します。姫路市民のなかでオーディションを行い、選ばれた数名をプロデュース・育成し全国に羽ばたいてもらう。その後姫路に戻ってきてもらうことで、ファンや観光客が姫路を訪れるきっかけになると思います。



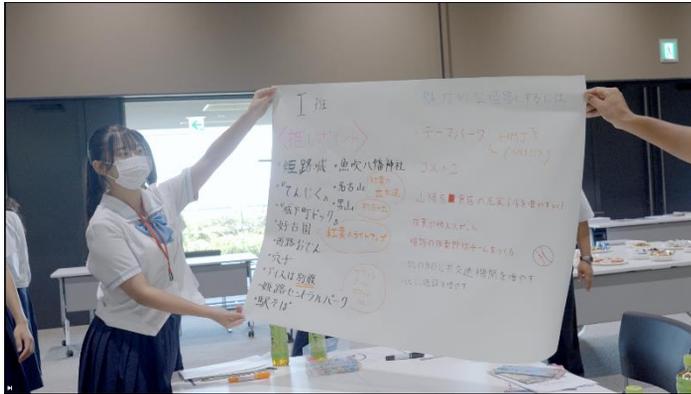
H班 私たちは姫路の 「新しい交通手段」を新たに企画して推したい！

- ◆ 姫路駅から姫路セントラルパークへの交通の便が良くないため、新たに姫路駅から姫路城を經由し姫路セントラルパークへ続くロープウェイを作る。
- ◆ 空中から姫路の街や姫路城の風景を楽しむことができる。



I 班 「**姫路城・好古園などなど多数**」を推します！

◆推しポイントは姫路城をはじめ、好古園、チーかまドッグなど多数あるため、魅力的な姫路にするためにUSJ（ユニバーサルスタジオジャパン）のようなテーマパーク「HMJ」を作りたいです。



J 班 「**一日市民体験**」を新たに企画して推したい！

◆一日市民体験で宿泊割引を企画します。これは岡山県のある街の民泊で実際に取り組んでいることです。一日畑の収穫を手伝ったり食器を洗ったりすることで宿泊料が割引になるというものです。これを宿泊施設と姫路市の企業とが連携し行うことで、観光客で宿泊される方が少ないという問題を解決することができると思います。



K班 私たちは姫路の「御座候」を推します！

◆御座候とは姫路の名物で、ふっくらした生地で、中にあんこのつまった甘いお菓子です。この名前は会社名で私たちが推しているのは「御座候」という会社です。御座候が作った企業博物館で「あずきミュージアム」があり、小豆を使ったクラフト体験や工場見学ができます。以前、個人的に認知度を調べた結果20%の人が知らないということが分かり、その認知度を上げるためにSNS発信・インフルエンサーに宣伝してもらう・広告を作る・御座候の会社があずきミュージアムや回転焼について話してもらうということを提案します。



L班 私たちは姫路の「国宝姫路城で逃走中」を新たに企画して推したい！

◆国宝なので姫路城内を走ってもらうのではなく競歩で行ってもらいます。お姫様や武将・忍者のコスチュームでしていただくことで全国的にもっと姫路の認知をあげられると思います。

